

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 株式会社JCLバイオアッセイ  
 コード番号 2190 URL <http://www.jclbio.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 靱山 邦男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 田中 雅樹  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

TEL 06-4863-5020

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	357	—	△84	—	△94	—	△60	—
21年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	△18.36	—
21年3月期第1四半期	—	—

(注)当連結会計年度より第1四半期決算短信を作成しているため、前第1四半期実績及び前年同四半期増減率の記載はしておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	%
22年3月期第1四半期	3,182	—	1,254	39.4	—	—	379.37	—
21年3月期	3,195	—	1,359	42.6	—	—	411.33	—

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,254百万円 21年3月期 1,359百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	10.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 上場記念配当 5円00銭

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	1,016	—	155	—	125	—	37	—	11.36
通期	2,575	3.5	558	11.2	454	3.8	231	△10.8	69.93

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	3,306,000株	21年3月期	3,306,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	3,306,000株	21年3月期第1四半期	—株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響による在庫調整が一段落しつつあるものの、企業業績や雇用環境、個人消費の改善までには至らず、厳しい状況が続きました。

当社グループがサービスを提供している医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進等の医療費抑制政策や大型新薬の特許切れが始まるいわゆる「2010年問題」等により、製薬企業にとって新薬の開発がより一層重要な課題となっております。また、海外へ販売網を広げる等、ますますグローバル化が進んでおります。

このような環境の中、当社グループは、引き続き、積極的な人材の採用・育成に取り組み、処理能力の拡大及び営業活動の強化に努めてまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間における売上高は計画を達成したものの、利益面につきましては、前期の第4四半期の受注鈍化の影響から当第1四半期連結累計期間における実施試験数が少なく、各試験への費用負担が重くなったため原価率が高くなり、販売費及び一般管理費を吸収することができませんでした。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は357,184千円、営業損失は84,904千円、経常損失は94,882千円、四半期純損失は60,697千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における受託試験種類別の売上高は次のとおりであります。

・ バイオアナリシス（生体試料中薬物濃度測定）

顧客である製薬会社の開発計画見直し等の影響により、前期の第4四半期における受注が鈍化したことから、当第1四半期連結累計期間に終了した試験が少なく、売上高は283,751千円となりました。

・ 医薬品品質安定性試験

前期に引き続き、引き合いは旺盛であり、スケジュール調整・管理を徹底することに努めた結果、売上高は73,433千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13,507千円減少して3,182,113千円となりました。これは主に、現預金の減少387,748千円、売掛金の減少91,873千円、リース資産の増加203,665千円、建設仮勘定の増加165,541千円、前払費用の増加36,050千円、及び仕掛品の増加50,701千円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ92,122千円増加して1,927,899千円となりました。これは主に、前受金の増加67,316千円、リース債務の増加214,889千円、未払配当金の増加10,723千円、未払法人税等の減少151,703千円、長期借入金の減少33,933千円、及び未払金の減少20,334千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ105,630千円減少して1,254,213千円となりました。これは主に、当第1四半期連結累計期間の純損失60,697千円の計上、及び配当金の支払33,060千円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、39.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ387,748千円減少し、647,994千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、130,052千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失の計上額94,638千円、減価償却費の計上額32,195千円、売上債権の減少額91,873千円、及び法人税等の支払額153,540千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、176,541千円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出175,180千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、79,455千円となりました。これは長期借入金の返済による支出47,093千円、配当金の支払による支出22,336千円、及びリース債務返済による支出10,026千円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における受注状況は回復傾向にあります。第2四半期以降も積極的な受注活動とスケジュール調整・管理の徹底に努めてまいります。

以上のことから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当第1四半期連結累計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号平成19年12月27日)を適用していますが、成果の確実性が認められる受託試験はないため、工事完成基準によっております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	647,994	1,035,743
売掛金	173,954	265,828
仕掛品	393,480	342,778
原材料及び貯蔵品	43,618	40,111
その他	165,681	109,495
貸倒引当金	△899	△1,495
流動資産合計	1,423,830	1,792,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	605,556	617,484
土地	441,782	446,212
その他(純額)	588,370	223,997
有形固定資産合計	1,635,709	1,287,695
無形固定資産	8,449	7,346
投資その他の資産	114,124	108,118
固定資産合計	1,758,282	1,403,159
資産合計	3,182,113	3,195,620
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	72,470	32,969
短期借入金	560,000	560,000
1年内返済予定の長期借入金	144,332	157,492
未払法人税等	819	152,522
賞与引当金	49,821	75,698
受注損失引当金	52,423	54,863
役員賞与引当金	—	5,000
その他	340,550	233,784
流動負債合計	1,220,417	1,272,330
固定負債		
長期借入金	368,768	402,701
退職給付引当金	82,061	77,219
役員退職慰労引当金	21,528	20,030
その他	235,124	63,496
固定負債合計	707,481	563,446
負債合計	1,927,899	1,835,777

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,356	256,356
資本剰余金	271,455	271,455
利益剰余金	730,003	823,760
株主資本合計	1,257,814	1,351,572
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	657	3,901
為替換算調整勘定	△4,258	4,370
評価・換算差額等合計	△3,601	8,271
純資産合計	1,254,213	1,359,843
負債純資産合計	3,182,113	3,195,620

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	357,184
売上原価	315,303
売上総利益	41,880
販売費及び一般管理費	
役員報酬	19,500
給料及び手当	25,703
賞与	170
法定福利費	4,972
賞与引当金繰入額	6,977
退職給付費用	2,221
役員退職慰労引当金繰入額	1,498
旅費及び交通費	4,630
保険料	2,446
支払手数料	11,875
減価償却費	1,303
研究開発費	14,016
その他	31,468
販売費及び一般管理費合計	126,784
営業損失(△)	△84,904
営業外収益	
受取利息	83
保険解約返戻金	51
その他	39
営業外収益合計	174
営業外費用	
支払利息	4,297
為替差損	1,748
開業費償却	4,106
営業外費用合計	10,152
経常損失(△)	△94,882
特別利益	
貸倒引当戻入額	596
固定資産売却益	66
特別利益合計	662
特別損失	
固定資産除却損	418
特別損失合計	418
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,638
法人税、住民税及び事業税	1,306
法人税等調整額	△35,247
法人税等合計	△33,940
四半期純損失(△)	△60,697

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成21年4月1日  
至平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△94,638
減価償却費	32,195
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△596
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,876
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,440
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,842
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,498
受取利息	△83
支払利息	4,297
固定資産売却損益 (△は益)	△66
固定資産除却損	418
売上債権の増減額 (△は増加)	91,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54,208
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,501
その他	35,949
小計	27,667
利息及び配当金の受取額	96
利息の支払額	△4,275
法人税等の支払額	△153,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△130,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△175,180
有形及び無形固定資産の売却による収入	100
その他	△1,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	260,000
短期借入金の返済による支出	△260,000
長期借入金の返済による支出	△47,093
配当金の支払額	△22,336
その他	△10,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,698
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△387,748
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	647,994

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当社及び連結子会社の事業は受託試験研究に関する単一の事業セグメントであるため、該当事項はありません。

② 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦の売上高が全セグメントの売上高の合計額に占める割合は90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。